

施設・展示・デモの概要

番号は、展示・デモの位置を示します。

①【片流れ防止機能付電動車いす】



進行方向に対して横向きに傾斜のある路面では、車いすの進路が下り方向に流されてしまいます。この「片流れ」と呼ばれる挙動を、自動的に検知・補正する安全走行技術を開発しています。

出展者 アイシン精機、今仙技術研究所、※1、2

※展示は3日間行いますが、デモは7月26日、27日のみ

②【障害とファッションをテーマに装飾した車いす4種】



携帯もジーンズも自転車も自分を表現する時代です。

さあ、車椅子もカスタマイズしましょう！

あなたらしさを表現することで一歩前へ進む力を私たちがお手伝いします。

出展者 (株)スカイファーム+武蔵野美術大学学生

③【トーキングエイド for iPad】



トーキングエイド for iPadはコミュニケーションを支援する機器です。iPadの利用で安価に幅広いユーザへ対応でき、専用ケースの利用で落下や水分から機器を守ることもできます。

出展者 株式会社ユープラス ※2

※展示・デモ 7月26日(木)のみ



③【触図筆ペン pico (ピコ)】



手の小さな人や子供さんたちにも持ちやすい、コンパクト型触図筆ペンです。インクに「みつろう」を使い、描くと盛り上がります。修正したいときにはヘラで削ればOK。

出展者 有限会社安久工機 ※2

※展示・デモ 7月27日(金)、28日(土)



③【高齢者に大切な情報をお知らせするロボット】



PaPeRo (パペロ)

NEC 社製のコミュニケーションロボット“PaPeRo”を利用して、認知症や認知機能の低下した高齢者を対象として、日時やスケジュール、体調管理など、生活に大切な情報をお知らせするロボットを開発しています。

※JST 戦略的イノベーション創出推進プログラムにて実施；日本電気株式会社、東京大学、産業技術総合研究所、株式会社生活科学運営、フランスベッド株式会社、国立障害者リハビリテーションセンター研究所 ※1

③【メンタルコミットロボット】



PARO (パロ)

人と共存するロボットで、かわいいや心地良いなど人からの主観的な評価を重視し、人との相互作用によって、人に楽しみや安らぎなどの精神的な働きかけを行うことを目的に産業技術総合研究所で研究されています。製品化されたパロは、現在、国内外の医療福祉施設などで活用され、「認知症のある人の福祉機器展示館」にも展示しています。また、東日本大震災の被災地の医療福祉施設、仮設住宅サポートセンター等での心のケアにも活用されています。

【認知症のある人の福祉機器展示館】



アラーム音で薬を飲む時間を知らせる服薬支援機器や、日付や予定を知らせる電子カレンダーなど、認知症のある人の自立生活を支援する機器、約 80 点を展示しています。

※会場は、障害者ライフモデルルームに隣接する建物です。施設公開に合わせて公開しています。合わせてご覧ください。

③【自動ブレーキ付車いす】



車いすのブレーキのうっかり“かけ忘れ”を防ぎます。万が一、ブレーキをかけ忘れたまま立ち上がると自動でブレーキがかかり、座っても自動でブレーキが解除されない安全設計。国リハ、東大、国福大が共同で、有効性の評価を行っています。 ※1

④【肢体不自由者用ロボットアーム】



iARM



JACO arm

重度の肢体不自由者の日常生活を支援するロボットアームがすでに販売されています。国リハ研究所では、これらのロボットアームを利用したとき、どれだけ役に立つのか、どれくらいお金がかかるのかを調査する研究を実施しています。展示ではオランダ製（iARM）とカナダ製（JACO）の2種類のロボットアームを紹介します。 ※1

⑤【ロボティックベッド】

※実機展示

出展者 パナソニック、※1、3

⑥【障害物回避先導ロボット】



目の不自由な方が安心して歩けるロボット技術の実現を目指しています。今回は、使用者の行きたい方向に動き、障害物があると避けたり停まったりするロボットの試作機を展示します。

出展者 日本精工株式会社

※最終日28日は15時まで展示・デモ

⑦ 倉庫



交換部品やベッドなどを入れておく倉庫

⑧ トイレフィティングルーム



便座を上下・左右に動かすことで部屋の中で便器の位置を調整し、手すり・スイッチ・トイレットペーパーの高さや位置を調整することで利用しやすさを体験できる

⑨ バスフィティングルーム、洗面所



浴槽や手すりの位置は変更可能。入浴可能。トイレは排泄可能。

⑩ ユニットバス、洗面所



⑨の洗面所と異なる洗面所のタイプ、ユニットバスは通常のタイプ。入浴可能。

⑪ トイレ



扉が便器の前、横にあるトイレ。便器の前方向に扉がある場合や、横方向に開き戸がある場合の使い勝手などを試せます。

⑫ 【災害時用仮設車いす対応型トイレ、災害時用仮設オストメイト専用トイレ】



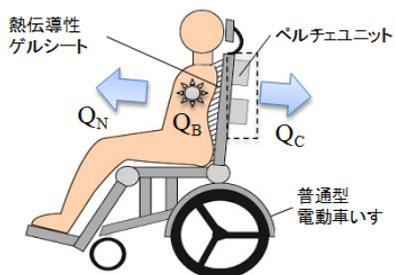
車いす対応型トイレは、水平式可動手すりがあり、左・右どちらからでも接近しやすい三角形構造です。オストメイトは、通常と比較して処理時間がかかるため、後列者とのトラブルを防ぐためにも専用トイレが必要です。

出展者 株式会社清水商会

⑬ 配付資料

国立障害者リハビリテーションセンターや展示物、および厚生労働省等の関連事業の参考資料。
ご自由にお取り下さい。

⑭ 【ペルチェ素子付電動車いす】



汗をかかないなど、体温調節機能に障害のある人のための支援技術です。電動車いすのバックレストに取り付けたペルチェ素子が体熱を吸収して、「うつ熱」と呼ばれる体温の異常上昇を防ぎます。※1

⑭ 温湿度変化が調整できる部屋



温度は-10 度から 42 度まで変化させることができる部屋で、温冷風を天井から吹出し、壁の下方で空気を吸います。
冬のスキー場では、-10 度位に、暑いグラウンドは、40 度位になります。

※1 国立障害者リハビリテーションセンターで研究または協力、およびその成果が製品化した物

※2 厚生労働省の「障害者自立支援機器等開発促進事業」で開発中または製品化した物

※3 経済産業省の「生活支援ロボット実用化プロジェクト」で研究中の物

国立障害者リハビリテーションセンター <http://www.rehab.go.jp/>